

平成 30 年度 第 2 回 東海村国民健康保険運営協議会議事録

1 開催日時	平成 31 年 2 月 20 日 (水) 13 時 30 分から 14 時 30 分まで
2 場 所	東海村役場 別館 101 会議室
3 出席者 (敬称略)	< 公益代表委員 > 越智 辰哉 (会長), 川野 正高 (会長代理) < 保険医代表委員 > 石川 誠, 尾形 孝 < 被保険者代表委員 > 井坂 愛子, 福地 さか江 < 事務局 > 飯村福祉部長, 高野住民課長, 照沼住民課長補佐, 齋藤住民課係長
4 欠席者	—
5 公開または 非公開の別	公開
6 非公開の 理 由	—
7 議 題	議案第 1 号 平成 30 年度東海村国民健康保険事業特別会計補正予算 (案) について 議案第 2 号 平成 31 年度東海村国民健康保険事業特別会計予算 (案) につ いて
8 配布資料	・平成 30 年度東海村国民健康保険事業特別会計補正予算 (案) ・平成 31 年度東海村国民健康保険事業特別会計予算 (案) [概要版] ・平成 31 年度東海村国民健康保険事業特別会計予算 (案) [詳細版]
9 発言内容	<p>■ 報告 事務局) 国民健康保険税特定同一世帯軽減適用終了期間誤りによる国民健康保険税の還付及び追加賦課の概要及び対応について</p> <p>■ 議事進行 会長</p> <p>■ 議事 事務局) 平成 30 年度東海村国民健康保険事業特別会計補正予算 (案) 及び平成 31 年度東海村国民健康保険事業特別会計予算 (案) について説明</p> <p>委 員) 減額補正の理由として, 被保険者数の減少があげられているが, どれ位減少しているのか。</p> <p>事務局) 昨年度の当初予算を計上した時と今年度の 12 月末現在</p>

	<p>での世帯数を比較すると、約 200 世帯減少している。</p>
委員)	<p>減少の理由はどのようなものか。</p>
事務局)	<p>後期高齢者医療保険への移行や社会保険の加入要件の緩和により国民健康保険から社会保険に加入となった方、その他転出や亡くなられた方等となる。</p>
委員)	<p>平成 30 年度の国民健康保険事業納付金の確定金額はいくらか。</p>
事務局)	<p>9 億 5, 937 万 8, 921 円である。</p>
委員)	<p>昨年と比べて予算額が 2 億 4, 900 万円減っている。世帯数と被保険者数、個人の所得等が関係していると思われるが、何か特別な理由があるのか。</p>
事務局)	<p>被保険者数が年々減少していることが大きな要因と考えている。</p>
委員)	<p>国民健康保険税が減っているが、個人の所得が急激に減ったというような影響等はないのか。</p>
事務局)	<p>被保険者数が減少しているため、それに伴い、国保税の試算に用いる被保険者の所得も下がっていると思われる。平成 31 年度の保険税は、本来平成 30 年度中の所得状況に基づいて計算されるが、実際には現在申告期間中で、予算編成時に所得状況を反映させることができないため、今回の予算は今年度の実績等を参考に算出したものになる。</p> <p>全体の予算額が少なくなってきたのは、被保険者数の減少と納付金制度となり、歳入・歳出ともに予算の項目が少なくなったこと等が大きな要因と考えている。</p>
委員)	<p>東海村全体の人口も減ってきているのか。</p>
事務局)	<p>約 38, 000 人程度で推移しており、ここ数年大きな変化</p>

	<p>はない。</p> <p>委員) 保健事業費として、特定健康診査事業と生活習慣病予防健診費補助事業というものがあるが、これは具体的にどんな事業か。</p> <p>事務局) 特定健康診査事業は、40～74歳の被保険者を対象にしたメタボ健診と言われる健診で、生活習慣病予防健診費補助事業は一般ドック及び脳ドックの費用助成を行う事業である。</p> <p>委員) 住民への周知方法はどのようにしているのか。</p> <p>事務局) 広報や健康カレンダー、ホームページ等での周知を図っている。</p> <p>事務局) 本日のすべての日程が終了した。以上をもって、平成30年度第2回東海村国民健康保険運営協議会を終了させていただく。御協力に感謝申し上げます。</p>
10 結 果	議題について了承。